高野岩三郎 統計学者，社会問題研究者。日本の統計学を創始，最初の組織的な調査を実施後，労働・無産運動を指導。

たかのいわさぶろう

廃藩置県・・・1871 = 長崎県長崎区銀屋町で，和服裁縫業を営む高野仙吉の次男に生まれる。兄は高野房太郎。

明治6年政変 1873 = 2歳：

・・・1880 = **9歳**：

明治14年政変 1881 = 10歳：

帝国憲法発布 1889 = **18歳**：

日清戦争始・1894 = 23歳：

日清戦争終・1895 = 24歳：東京帝国大学を卒業，

大学院に籍をおき社会政策学会の創設に携わった後，

子規句歌革新 1898 = **27歳**：

ミュンヘン大学に留学，

日比谷公園・1903 = 32歳：帰国して，東京帝国大学法科大学教授となり，統計学の講座を担当。

日露戦争始・1904 = 33歳：この年，兄房太郎が死去。法学博士。

日露戦争終・1905 = 34歳：

韓国反日暴動 1907 = **36歳**：

明治天皇没・1912 = 41歳：友愛会の評議員に就任，

21ヶ条要求・1915 = 44歳：「統計学研究」，

民本主義・・・1916 = **45歳**：「二十職工家計調査」と，

ロシア革命・1917 = 46歳：*「月島労働者家計調査」で，日本最初の組織的な家計調査・社会調査を実施する。

本格政党内閣 1918 = 47歳：内務省救済事業調査会委員として，治安警察法第17条・第30条の廃止を主張し，

ハルビン条約・1919 = 48歳：第1回国際労働会議への労働者代表に推されるが，この選出方法に反対した友愛会など労働組合の同意を得られなかったため代表受諾を撤回，同時に東大教授も辞職した。

大暴落・・・1920 = 49歳：創設された大原社会問題研究所の所長に就任し，多くの研究者を育成しながら，

原敬首相暗殺 1921 = 50歳：

水平社結成・1922 = 51歳：「本邦人口の現在及将来」，

治安維持法・1925 = **54歳**：*「社会統計学史研究」第1巻などの著作を発表し，日本における統計学の創始者としての役割を果たし，

労働組合問題・無産政党問題についての運動指導者の相談役となり，組合・無産政党の合同に際しては斡旋役を引きうけた。

海軍軍縮条約 1930 = 59歳：全国大衆党の顧問，

満州事変・・・1931 = 60歳：社会大衆党の顧問，

帝人疑獄事件 1934 = **63歳**：

芥川直木賞始 1935 = 64歳：総同盟と全労の合同を斡旋し，

二二六事件・1936 = 65歳：全日本労働総同盟の顧問に就任。

日中戦争始・1937 = 66歳：

日米開戦・・・1941 = 70歳：

創価学会検挙 1943 = **72歳**：

敗戦・・・1945 = 74歳：*敗戦後，全国の無産運動活動家に対する社会主義政党結成の呼びかけ人の一人となり，結成された日本社会党の顧問に就任。文化人連盟の結成にも働き，憲法研究会の「憲法草案」作成に助力したほか，個人で「日本共和国憲法，私案要綱」を発表，天皇制廃止・共和制採用を主張。

新憲法公布・1946 = 75歳：日本放送協会会長となり放送民主化に努力する一方，放送ゼネストに対処。

三大事件・・・1949 = 78歳：没した。